

そこにあるものに向き合い、
地域と企業で未来を共創する。



ゆきむろ Labo

共創型ワークショップ

2026年8月—2027年1月 | 新潟・雪国観光圏+東京



雪室(ゆきむろ)は、雪を資源として活かしてきた、雪国の知恵の象徴。

かつて雪は、暮らしを閉ざす厄介者でした。雪国観光圏は、その雪に向き合い「恵み」と捉え直すことで、

雪国という概念を刷新してきました。同じことが、ビジネスにも言えるのではないのでしょうか。

あえて現地へ。企業と地域が膝をつき合わせ、そこにある資源の可能性を一緒に掘り起こしていく。

雪国観光圏の実践知を惜しみなく公開する、共創プログラムです。

VALUE

ゆきむろLaboから生まれる新たな価値



「異質な知恵」が
思考の壁を壊す

都市のロジックが通じない雪国の現場で、
自社の常識をいったん手放す。動き出した
視点は、既にあるものを捉え直す眼となる。



「共につくる」経験が
事業を育てる

地域の人々とともに対話し、資源の新しい
活かし方を考える。その経験が共創力と、
ジャンプ力を養う。



地域との「関係性」が
次のビジネスの種になる

関係人口として自ら獲得した継続的な
つながりが、新たな事業・商品・価値創造
の土壌となる。



PROGRAM

ゆきむろLabo 2026 プログラム内容

各回または通しでのお申し込みが可能です。料金は各回ごとに異なります。参加費に交通費・宿泊費・食事・懇親会費は含まれません。

8/4(火) 19:00-20:30

オンライン・無料

ゆきむろLabo 2026 説明会・テーマ勉強会

今期プログラムの概要と、各テーマを理解する場。申込者には後日アーカイブ動画を共有予定。

10/27(火) - 28(水)

新潟県南魚沼市 ryugon(予定)

#01 地域の資産をビジネスに活かす「文化の力」アカデミー 基礎編

「文化の力」フレームをもとに資源の読み解き方・活かし方を解説。実践者のビジネス展開例を紹介。

11/26(木) - 27(金)

新潟県南魚沼市 ryugon(予定)

#02 地域の資産をビジネスに活かす「文化の力」アカデミー 実践編

参加者自身が推進したい事業を、地域との共創によって展開するための糸口を探る実践的プログラム。

12/7(月) - 8(火)

新潟県南魚沼市 ryugon(予定)

#03 関係人口×地域経済循環を考える 帰る旅プロジェクト編

「帰る旅プロジェクト」の現場を視察し、関係人口を活かした新たなビジネスアイデアをディスカッション。

1/8(金) 10:00-16:00

南魚沼市 or 湯沢町(予定)

#04 冬の部活動編 スノーピクニック×雪上ビジネス相談の会(その1)

雪原でのスノーピクニックを楽しみながら、ビジネスアイデアや課題感を語り合う雪国発アクティビティ。

1/12(火) 10:00-16:00

南魚沼市 or 湯沢町(予定)

#05 冬の部活動編 スノーピクニック×雪上ビジネス相談の会(その2)

内容は#04と同様。日程の合う回にご参加ください。

1/15(金) 18:00-20:30

東京都内会場・一部配信予定

#06 振り返り・フォロー会

持ち帰った気づきや育てたいアイデアを分かち合い、次につなげる場。後半は懇親会を予定。

SPEAKER

現地ホスト・講師・ファシリテーター

※講師・ファシリテーターは予定。追加・変更になる可能性があります



HOST / MAIN SPEAKER(全回)

井口 智裕

雪国観光圏 代表理事／いせん・龍言 代表取締役



SPEAKER(#01-02・#04-05)

フジノケン

(一社)雪国観光圏ブランドマネージャー・CMO／(株)N37代表



SPEAKER(#03)

北嶋 緒里恵

じゃらんリサーチセンター客員研究員／帰る旅研究会共同代表



FACILITATOR(#01-03)

木立 徹

リージョナルリング株式会社 取締役／観光DXプロデューサー

参加企業・
課題マッチング
のイメージ

#01・#02 文化の力アカデミー(基礎編・実践編)

地域密着型のビジネスを行う全国各地の企業から都市開発・金融機関まで、地域の“文化”をビジネス軸に据えたい方々。

#03 関係人口×地域の経済循環

関係人口開発の先進事例「帰る旅プロジェクト」が生まれた雪国観光圏で、実証の場を探す新規事業担当、ベンチャー企業、地域経済循環を学びたい自治体・DMOの方々。

詳細・お申し込み → snow-country.jp/yukimuro-labo

主催：一般社団法人雪国観光圏 ※お問い合わせ：サイト記載の問い合わせフォームよりお願いします

